

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	産業・システム情報	科目：	産業技術基礎	単位数：	3	指導学年：	1
使用教科書	なし	副教材	自校作成資料				

年間指導目標：

産業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、各分野における技術への興味・関心を高め、産業の意義や役割を理解させるとともに、産業に関する広い視野を養い、産業の発展を図る意欲的な態度を育てる。

	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
評価規準	産業技術について産業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解している。産業技術に関連する技術を身に付けている。	産業技術に関する課題を発見し、産業に携わる者として科学的な根拠に基づき産業技術の進展に対応し解決できる。	産業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、産業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数	
1 学期	中間 考査	第1ローテーション オリエンテーション ①バイオロイドロボット ②Officeの基礎 ③電子部品確認・半田練習	(知)	・実習室および実習の進め方を理解している。 ・ロボットの基本が理解できている。 ・Officeソフトの基本機能が使用できる。 ・安全に正確な半田付けができる。			○	○	○	18	
			(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。			○	○	○		○
			(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。			○	○	○		○
1 学期	期末 考査	第1ローテーション (続き) ①バイオロイドロボット ②Officeの基礎 ③電子部品確認・半田練習	(知)	・実習室および実習の進め方を理解している。 ・ロボットの基本が理解できている。 ・Officeソフトの基本機能が使用できる。 ・安全に正確な半田付けができる。			○	○	○	18	
			(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。			○	○	○		○
			(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。			○	○	○		○

2 学 期	中 間 考 査	第2ローテーション	(知)	・実習室および実習の進め方を理解している。 ・論理回路の基本が理解できている。 ・スクラッチを用いてゲームを制作できる。 ・正確な半田付けで時計の製作ができる。		○	○	○	○	24
		①論理回路 ②スクラッチ（ゲーム制作） ③時計の製作	(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。		○	○	○	○	
			(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。		○	○	○	○	
2 学 期	期 末 考 査	第2ローテーション (続き)	(知)	・実習室および実習の進め方を理解している。 ・論理回路の基本が理解できている。 ・スクラッチを用いてゲームを制作できる。 ・正確な半田付けで時計の製作ができる。		○	○	○	○	24
		①論理回路 ②スクラッチ（ゲーム制作） ③時計の製作	(思)	・各実習テーマの基本的な内容を理解し、その応用を考察することができる。 ・各実習で気づいたことや解決策などを考察しレポートに記述することができる。		○	○	○	○	
			(態)	・各実習に欠席や遅刻・早退することなく参加し、積極的に課題に取り組んでいる。 ・実習中は安全に考慮した行動を意識している。 ・レポートを期限内に提出している。		○	○	○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	5 知的財産教育	(知)	・パワーポイントを用いて、わかりやすい発表をすることができる。 ・リハーサルや発表までの準備を計画的に実施することができる。		○	○	○	○	33
		①発表準備 ②リハーサル ③発表 ④反省・後片付け	(思)	・発表時の役割分担や段取りおよび発表方法がメンバの中で工夫されている。 ・イレギュラーな事態への対応が、メンバの中で考察されている。		○	○	○	○	
			(態)	・本番までの発表練習を積極的に行い、リハーサルにも真摯に取り組んでいる。 ・発表後の清掃、後片付けなども協力し積極的に行っている。		○	○	○	○	
合計										117